平成28年２月１日 No.168

市議会だより

発行 伊東市議会 議長 宮﨑雅薫
編集 議会報編集委員会
伊東市議会事務局
電話32−1981(直通)FAX38−6916

大室山

表紙は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。
つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

主な内容

○12月定例会の概要 ……【Ｐ.２】
○一般質問（10議員が登壇）……【Ｐ.５】
○常任委員会だより ……【Ｐ.11】

南から来た 火山の贈りもの
～伊豆の魅力を世界に発信～
伊豆半島ジオパーク
IZU PENINSULA GEOPARK

市議会の情報は、市のホームページアドレス http://www.city.ito.shizuoka.jp/からアクセスできます。

平成27年12月定例会

41件の議案等を審議、決定

12月定例会を12月２日から12月15日までの14日間の会期で開会しました。

■市議会12月定例会で審議した議案等

議案番号	件　　名	概　　要	提出者	審議結果
市議第24号	機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例	平成28年４月１日に施行する組織機構の見直しに伴い、関係条例を整備するため、７件の条例の一括改正	市長	賛成多数で可決
市議第25号	伊東市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（番号法）の公布に伴い、個人番号の利用範囲及び特定個人情報の提供について必要な事項を定める等の条例	市長	賛成多数で可決
市議第26号	伊東市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	本市職員の給料月額の最高水準について平成25年度に改正を行ったが、さらなる給料水準の適正化を図ることを目的とする条例改正	市長	全会一致で可決
市議第27号	被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、伊東市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例及び伊東市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例について、他の法令による社会保障給付を受ける場合の調整に係る規定等の条例改正	市長	全会一致で可決
市議第28号	伊東市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、地方税における猶予制度について、一定の事項については条例で定めることとされたため、徴収金の分割納付の方法や徴収猶予の申請手続、換価の猶予申請手続等を定めるとともに、減免の申請期限を「納期限前７日」から「納期限」に改めるなどの条例改正	市長	全会一致で可決
市議第29号	伊東市立さくら保育園条例の一部を改正する条例	伊東市立さくら保育園について、児童発達支援事業を行う通所施設として明確に位置づけ、施設名称を「さくら保育園」から「さくら園」に改めるなどの条例改正	市長	全会一致で可決
市議第30号	伊東市介護予防拠点施設条例の一部を改正する条例	保健福祉センターの老朽化に伴う新たな保健福祉施設の整備に当たり、建設地にある介護予防拠点施設シニアプラザ桜木を解体するため、当該施設の名称等を削除する条例改正	市長	全会一致で可決
市議第31号	伊東市散骨場等の経営の許可等に関する条例	葬送に対する考え方、埋葬方法が多様化している状況から、散骨場及び墓地に類似する施設の経営を規制するため、許可基準及び許可条件に違反した場合などを定める条例制定	市長	全会一致で可決
市議第32号	伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	番号法の施行に伴い、国民健康保険税の減免申請の記載事項に個人番号を加えるとともに、地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、国民健康保険税の減免の申請期限を「納期限前７日」から「納期限」に改める条例改正	市長	全会一致で可決
市議第33号	消防広域化に伴う関係条例の整備に関する条例	平成28年４月１日に駿東伊豆消防組合が発足することに伴い、関係条例を整備するための条例改正（３件の条例改正、４件の条例廃止）	市長	賛成多数で可決
市議第34号	駿東伊豆地区消防通信指令事務協議会の廃止について	平成28年４月１日に駿東伊豆消防組合に加入し、運用を開始することから協議会廃止の議決に付すもの	市長	全会一致で可決
市議第35号	駿東伊豆地区消防救急広域化協議会の廃止について		市長	全会一致で可決
市議第36号	市道の路線認定について	市が管理する道路の構造及び技術的基準に当てはまる道路、法定外公共物で生活道路として常時利用されている道路及び橋梁など12路線、999.4mの市道の路線認定	市長	全会一致で可決
市議第37号	伊東市児童・身体障害者福祉センターはばたき、伊東市中央児童館及び伊東市玖須美児童館の指定管理者の指定について	社会福祉法人城ケ崎いこいの里を指定 指定の期間：平成28年４月１日～平成33年３月31日	市長	全会一致で可決

議案番号	件　　名	概　　要	提出者	審議結果
市議第38号	伊東市重度障害者デイサービスセンターひだまりの指定管理者の指定について	社会福祉法人城ケ崎いこいの里を指定 指定の期間：平成28年４月１日～平成33年３月31日	市長	全会一致で可決
市議第39号	伊東市保健福祉センター（老人福祉施設）の指定管理者の指定について	社会福祉法人伊東市社会福祉協議会を指定 指定の期間：平成28年４月１日～平成29年３月31日	市長	全会一致で可決
市議第40号	伊東温泉観光・文化施設東海館の指定管理者の指定について	一般社団法人伊東観光協会を指定 指定の期間：平成28年４月１日～平成33年３月31日	市長	全会一致で可決
市議第41号	宇佐美漁港、富戸漁港、八幡野漁港及び赤沢漁港の指定管理者の指定について	いとう漁業協同組合を指定 指定の期間：平成28年４月１日～平成33年３月31日	市長	全会一致で可決
市議第42号	伊東高等職業訓練校の指定管理者の指定について	職業訓練法人伊東職業訓練協会を指定 指定の期間：平成28年４月１日～平成33年３月31日	市長	全会一致で可決
市議第43号	伊東市シルバーワークプラザの指定管理者の指定について	公益社団法人伊東市シルバー人材センターを指定 指定の期間：平成28年４月１日～平成33年３月31日	市長	全会一致で可決
市議第44号	伊東市立八幡野保育園の指定管理者の指定について	社会福祉法人厚生保育会を指定 指定の期間：平成28年４月１日～平成33年３月31日	市長	全会一致で可決
市議第45号	宇佐美コミュニティセンターの指定管理者の指定について	宇佐美コミュニティセンター管理運営協議会を指定 指定の期間：平成28年４月１日～平成33年３月31日	市長	全会一致で可決
市議第46号	小室コミュニティセンターの指定管理者の指定について	小室コミュニティセンター管理運営協議会を指定 指定の期間：平成28年４月１日～平成33年３月31日	市長	全会一致で可決
市議第47号	八幡野コミュニティセンターの指定管理者の指定について	八幡野コミュニティセンター管理運営協議会を指定 指定の期間：平成28年４月１日～平成33年３月31日	市長	全会一致で可決
市議第48号	富戸コミュニティセンターの指定管理者の指定について	富戸コミュニティセンター管理運営協議会を指定 指定の期間：平成28年４月１日～平成33年３月31日	市長	全会一致で可決
市議第49号	伊東市生涯学習センター池会館の指定管理者の指定について	伊東市生涯学習センター池会館管理運営協議会を指定 指定の期間：平成28年４月１日～平成33年３月31日	市長	全会一致で可決
市議第50号	伊東市生涯学習センター赤沢会館の指定管理者の指定について	伊東市生涯学習センター赤沢会館管理運営協議会を指定 指定の期間：平成28年４月１日～平成33年３月31日	市長	全会一致で可決
市議第51号	伊東市生涯学習センター荻会館の指定管理者の指定について	伊東市生涯学習センター荻会館管理運営協議会を指定 指定の期間：平成28年４月１日～平成33年３月31日	市長	全会一致で可決
市議第52号	平成27年度伊東市一般会計補正予算（第４号）	環境美化センター更新改良整備事業等の起債の償還に備えるための減債基金積立金、障害者自立支援給付費、生活保護の扶助費など、８億4,203万9,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第53号	平成27年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算（第２号）	不足が見込まれる居宅介護サービス給付費や施設介護サービス給付費の増額など、５億957万3,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第54号	平成27年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	広域連合に対する療養給付費負担金の増額など、7,648万8,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第55号	伊東市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	平成26年度人事院勧告において、地域の民間給与水準を踏まえ、行政職俸給表（一）水準の平均２％引き下げが勧告されたことに伴う条例改正	市長	賛成多数で可決
市議第56号	伊東市新保健福祉施設建設工事請負契約の締結について	契約金額：９億2,772万円 契約の相手方：三和建設・杉浦建設特定建設工事共同企業体	市長	全会一致で可決
市選第５号	教育委員会委員任命の同意について	沼田芳美氏（大原）新任	市長	全会一致で任命に同意
市選第６号	固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	鬼頭幸一氏（広野）再任	市長	全会一致で選任に同意
市諮第３号	人権擁護委員候補者の推薦について	速水ふじ子氏（川奈）新任	市長	全会一致で推薦に同意
発議第８号	マイナンバー制度の円滑な運営に係る財源確保等自治体の負担軽減を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員８名	全会一致で可決
発選第７号	懲罰特別委員会委員の選任について	井戸清司議員、佐山正議員、稲葉富士憲議員、長沢正議員、鈴木克政議員、重岡秀子議員を選任	議長	―
―	議員杉本一彦君に対する懲罰の件	審査の概要は４ページをごらんください。	議員３名	全会一致で「陳謝」の懲罰に決定
発選第８号	懲罰特別委員会委員の選任について	井戸清司議員、佐山正議員、稲葉富士憲議員、長沢正議員、鈴木克政議員、重岡秀子議員を選任	議長	―
―	議員杉本一彦君に対する懲罰の件	審査の概要は４ページをごらんください。	議員11名	全会一致で継続審査に決定

懲罰動議の審議

一二月七日の常任福祉文教委員会において、杉本一彦議員は委員長による度重なる注意や指導を受けるとともに、さらには閉会宣告前の退出に係る注意に際して、無礼な言辞を用いるなど、会議の進行を妨げ、議会の品位を汚し、その権威を失墜させたとして、「議員杉本一彦君に対する懲罰の動議」が、議員三名から提出されました。

一二月一一日、本会議に本動議が上程され、その審査を懲罰特別委員会に付託し、同委員会で審査を行った結果「公開の議場における陳謝」の懲罰を科すべしと決定しました。

一二月一五日、本会議において、懲罰特別委員会審査報告が行われ、全会一致で審査報告のとおり決定し、議長は同委員会において作成した陳謝文の朗読を杉本議員に求めました。しかし、杉本議員は陳謝文の内容に納得ができないとして拒否したため、議会の議決を軽視する行為であるとして、再度懲罰動議が提出され、議決により閉会中の継続審査となりました。

ことばの解説

（継続審査）

議会に提出され議決に至らなかった案件は、後会に継続せず会議終了とともに廃案となりますが、審査に時間を要する等により、特に本会議で継続審査とすることを議決した場合には、委員会において、閉会中に審査を行うことができます。

全員協議会を開会

一二月一五日、一二月定例会閉会後に全員協議会を開会し、当局から次の報告がされました。

■第四次伊東市総合計画・第十次基本計画

■伊東市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略

本会議で行った討論（概要）

■市議第二四号

■市議第三三号

《反対》日本共産党

消防広域化は既に議決されているが、管理職級職員の出向が本市の消防力低下につながらないか、土地カンが必要な指令センターの人員は十分か、事務部門等を集約し、現場の人員をふやしていくとのことであったが、本当に実現可能かなど、改めて広域化が市民サービス向上となるのか疑問であるため、反対する。

■市議第二五号

《反対》日本共産党

マイナンバー制度は見切り発車で決定された。何よりも、この重大な制度が国民によく理解されないまま、肝心の番号も十分に届かないまま施行されていく。

一つの番号にあらゆる個人情報が集約される危険性や情報漏えい対策などに大きな懸念があるため、利用分野の大幅制限等、制度そのものに見直しが必要であると考え、反対する。

■市議第二九号

《賛成》日本共産党

当局から、保護者説明会において、名称変更とともに、園の機能充実を求める旨の要望もあったとの答弁がされた。この点を重要視し、今後は、保育士のみならず、言語聴覚士等専門職を配置するとともに、従来の幼児保育の性質は失わずに事業を行うことが必要であると考え、保護者の願いに沿った園になるよう期待し、賛成する。

■市議第五五号

《反対》日本共産党

人事院勧告は地域の民間との格差で考えているが、問題は仕事の量や質である。暮らしや子育て、雇用など市役所が駆け込み寺になっており、さらにはマイナンバー、臨時給付金、地方創生等仕事は際限がなくふえている。今大事なことは職員の元気・創意で一丸となり、まちの活性化につなげることだと考え、反対する。

（議案の内容は2、3ページをごらんください）

※会派構成議員～佐藤龍彦議員、◎重岡秀子議員（議席順、◎＝会派代表者）

一般質問

10議員が登壇/市政全般等について質問

（登壇順に掲載）

発達障害児（者）支援の現状と課題に関し、作業所の設置について伺う

正風改革クラブ
井戸清司議員

発達障害者支援法が施行され、発達障害者支援の体制整備がなされてきたが、医療・保健・福祉・教育・雇用などの関係部局が横断的に施策を構築し、また、国・県・市の縦の連携強化も必要であると考える。

就労面において、健常者は職種を限定しなければ、多くの選択肢の中で就職先を探すことが可能であると思うが、発達障害を含めさまざまな障がい者の方々は中学校、高校を卒業した後の進路として、非常に狭い枠の中で就労の場を探さなければならない。

市内には、宇佐美や大原町にあるような、NPO法人の運営によるいわゆる作業所など、障がい者の就労の場はあるものの、実際には不足している状況がある。

障害の程度により差異があるが、障がい者の就労の機会を創出することは民間だけではなく、自治体にも大きな責任があると考えることから、作業所の設置について伺う。

就労支援の体制づくりは年々充実してきていると感じているが、将来的には作業所の不足も見込まれ、整備は必要と考えている

市長

本市においては、就労系事業所としての作業所が一一事業所、定員は一九〇人であり、就労支援の体制づくりは事業者の理解と努力により、年々充実してきていると感じている。

しかし、作業所の利用者は固定化する傾向があり、近い将来には作業所の不足も見込まれるところである。

障がい者個々の障害の程度により、作業内容や種類もさまざまであることから、本人の特性に合った就労の場の確保のためにも、作業所の整備は必要と考えている。

『その他の質問』一二項目

おおはら（箱折作業の様子）

伊東・宇佐美間のバイパスにおける歩道の有効活用について伺う

自民・絆
中島弘道議員

昨今の健康志向の高まりにより、ウオーキング、ジョギングをする方が増加しており、二〇一三年の世論調査では過去一年間にウオーキングをしたことがある人の割合は二人に一人、また、ジョギング・ランニングをしたことがある人は九・七%、約一〇人に一人が行っているという調査結果も出ている。

伊東オレンジビーチから宇佐美海岸にかけてもウオーキング、ジョギングをする方を多く見かけ、特にこの歩道は風光明媚な海岸線沿いの環境にあり、平たんで信号も二カ所だけ、距離は約七kmと絶好のウオーキング、ジョギングコースで、これからの時期はオレンジビーチマラソンに向けて練習する人もふえる。

また、伊東市街からマリンタウンまで歩く観光客もいて、ところどころで記念写真などを撮っている姿が見受けられる。

そこで、この歩道を市民の健康づくりの場として、また、新たな観光資源としてもっと有効な活用ができるかと思うが、いかがか。

距離表示板の設置を計画しており、安全、安心に利用できる歩道となるよう検討している

市長

国道一三五号の伊東オレンジビーチから宇佐美海岸にかけての海側の歩道については、多くの方々がウオーキングやジョギングなどを楽しんでおり、その光景を日常的に確認している。

歩道については、現在、伊東市健康保養地づくり事業の一環として、ウオーキング等の目安となる距離表示板の設置を計画している。

また、今後についても、誰もが安全、安心に利用できる歩道となるよう、検討していく。

『その他の質問』　六項目

バイパス沿い歩道（オレンジビーチ）

受動喫煙防止について本市の考えを伺う

公明党
長沢　正議員

二〇〇五年二月に世界保健機関（WHO）が発効した「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約」は、喫煙が及ぼす健康等への悪影響対策等に関し、国際協力の枠組みを与える第一歩となり、現在では各国において禁煙・分煙への取り組みが広がっている。

オリンピック・パラリンピック開催国においても、多くの選手や観光客が訪れることから、施設等の禁煙・分煙化が推進され、たばこのないオリンピック・パラリンピックを目指しているところである。

本市は、毎年六〇〇万人を超える来遊客があり、また、二〇二〇年には東京オリンピック・パラリンピックの開催により、海外から多くの選手や観光客が来日することが予想される。

国内外のお客様を風光明媚なまちなみときれいな空気で「おもてなし」ができるようにするとともに、市民の健康寿命を伸ばすためにも受動喫煙防止への取り組みは重要であると考えるが、本市の取り組みについて伺う。

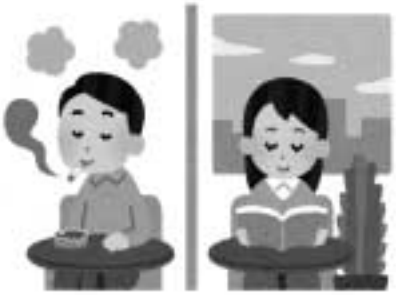
基準に基づいた分煙対策を講じるとともに健康教育やキャンペーンによる啓発に努める

市長

受動喫煙防止については、市が管理する施設内での禁煙及び分煙対策に努めている。

不特定多数の人が利用する施設等において、直ちに全面禁煙とすることは困難であることから、喫煙場所の検討や「分煙効果判定基準」に基づく分煙対策を講じるとともに、喫煙可能区域内に未成年者や妊婦が立ち入ることがないよう、受動喫煙防止についての健康教育やキャンペーンなどで広く市民への啓発に努めている。

『その他の質問』　二項目



吸う人・吸わない人
お互いに気持ちのよい環境づくりを

誘客対策における国内及び海外に向けた中期的なターゲット等について伺う

正風改革クラブ
青木敬博議員

本市の観光施策を考える上で、どのようなビジョンでどのような属性の観光客をターゲットにするのかは非常に重要であり、行政がビジョンや方向性を明確にすることで、民間の観光業者も対応策を講じやすくなるのではと思われる。特に外国人観光客に対しては「人」に対する投資が必要となり、どの言語の通訳が必要かなど、戦略、戦術を決定する上で、具体的なビジョンを官と民が「共有」することによりさらなる効果が期待できると考える。

そこで、国内及び海外に向けた誘客対策について、この先五年から一〇年の中期的なビジョン及びターゲットについて伺う。

国内に向けては二〇代から四〇代の女性を、海外に向けては台湾・中国を主要とし、さらに、欧米の個人旅行者もターゲットとしたい

市長

誘客対策において、中期的な観光ビジョンを官と民が共有し、ターゲットを絞った施策を展開していくことは非常に重要であると考える。

国内に向けては、観光客のニーズが多様化し、観光を取り巻く環境は激しく変化している中でのビジョンの絞り込みは困難であるが、オールシーズンプロモーション事業において二〇代から四〇代の女性をターゲットに事業を展開している。

また、海外に向けては、引き続きトップセールス等による強いパイプを生かし、訪日外国人観光客数が多い台湾や中国等のアジア諸国を主要ターゲットに据えた取り組みを展開していく。

さらに、欧米諸国からの個人旅行者も新たなターゲットに据えていきたいと考えている。

『その他の質問』　三項目

日本を訪れる外国人観光客

社会的孤立と困窮を生まないまちづくりに関し伺う

民主党・刷新の会
四宮和彦議員

生活困窮者自立支援法では、「生活困窮者」を現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者と規定している。本法施行前の平成二六年九月の銚子市母子心中事件では、公営住宅に住み、就労し、子供に必要なものは借り入れなどして買い与えていたため、生活困窮状況が表面化しにくく、従来の支援制度からこぼれ落ちてしまった、まさに法における「生活困窮者」だったと思われる。

このような従来のセーフティーネットの対象とならない相対的貧困者への支援が、本法の趣旨であり、その実現のためには相対的貧困率の把握が重要であると考えるが、いかがか。

また、福祉部局と雇用部局の連携状況について伺う。

社会福祉課内にワンストップ窓口を設置し、関連団体と連携を図っている

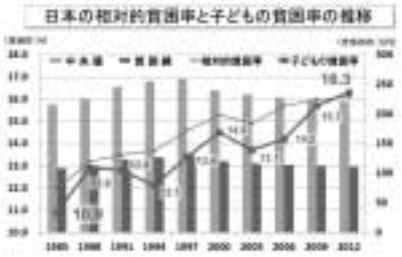
市長

相対的貧困比率については、社会全体の生活水準に対し、一定の生活が送れる水準に達していない世帯の比率を、国が国民生活基礎調査の結果をもとに算出している。市町村単位での相対的貧困率については、国から示されていないが、所得格差を理解する上で、重要な数値であると認識している。

また、さまざまな悩みを持つ困窮者のワンストップ窓口として、社会福祉課内に「くらし相談センターこころ」を設置し、相談員二人で対応している。

困窮者の悩みは多種多様であるので、行政や福祉関連団体により構成する支援調整会議を随時開催し、個々の置かれた状況の分析と、必要な支援について協議し、各部署での支援がスムーズに行えるよう連携を図っている。

『その他の質問』　四項目



厚生労働省
2014年「国民生活基礎調査」

国の地方創生戦略に対する市の政策の進捗状況について伺う

自民・絆
稲葉正仁議員

本市は大消費地である都会に近く、農業と観光を結びつけて営業していけば若者をひきつける新しい農業形態が発展していくものと思われる。特に、狭い面積でも高品質な作物を栽培できる集約的施設園芸が適しており、かんきつ類やトマト等のほか、温泉熱を利用すればマンゴーやスターフルーツなどが栽培でき、天候に左右されず観光と結びつけた営農ができる。

若者が子育てや介護をしながら農業をすることも可能であり、自分たちの楽しみを満喫することもできる。

また、地元住民が栽培方法を教えるなど、親交を深めることで、その若者たちが移住型新規就農者になり、人口減少の歯どめにもなると思われることから、以前にも同様の質問をしたが、農業の担い手育成、新規就農者及び新規起業者への本市独自の支援策の進捗状況について伺う。

市、商工会議所、清水銀行との間で創業支援の体制構築に関する合意書を締結した

市長

本市独自の支援策は、地方創生に向け、関係団体との連携による総合的なサポート体制の整備が重要であると認識している。

新規起業者への支援策については、市、商工会議所、清水銀行との間で「伊東市創業支援計画」に基づく創業支援の体制構築に関する合意書を締結したところであり、市内での起業・創業を積極的に支援し、あわせて雇用の創出にもつなげていく。

また、担い手育成や新規就農者に対しても産・官・学・金の連携強化を図りながら、実効性のある支援策を講じていきたいと考えている。

『その他の質問』　一項目

施設園芸（マンゴー）

観光戦略を研究、分析、推進する組織「観光まちづくり大学（仮称）」の創設を提案するが、いかがが

日本共産党
重岡秀子議員

本市における地方創生は、観光抜きには考えられず、第一次産業の発展や商店街のにぎわい創出も観光産業が軸になることが求められており、それは、伊東が誇る豊かな観光資源をどう生かし切るかにかかっていると思われる。観光を取り巻く環境、観光客の動向やニーズは大きく変化しており、経済状況、ひいては国際情勢も大きく影響する。変化に対応できる観光戦略とは常に研究され、見直される必要があるが、その主体は誰で、議論、推進及びPDCAはどこで行うのか。

そこで、市民、行政、観光関連業者、専門家が知恵を出し合い、変化し続ける来遊客の動向を分析し、観光資源を生かした観光戦略を研究する必要があると考えるが、いかがか。

また、その場として、伊東を担う次世代を育成する観点からも、「観光まちづくり大学（仮称）」を創設する考えはないか伺う。

新たな組織を設置することは考えていないが、必要に応じ、各方面から意見を伺いながら、今後の観光振興の方向性等を検討する

市長

来遊客のニーズの分析については、大手エージェントやコンサルタントなどからの情報分析や、市内外の関係機関の活用を含め検討していく。

「観光まちづくり大学（仮称）」については、新たな組織を設置することは考えていないが、必要に応じて、第一次及び第二次観光基本計画を策定する際に設置した、「伊東みらい観光塾」の塾生や専門家、大学生等の意見も伺いながら、今後の観光振興の方向性や方策等について、継続的に検討していくことを考えている。

『その他の質問』　三項目

伊東駅周辺整備の現時点における課題と今後の見通しについて伺う

公明党
鳥居康子議員

伊東駅周辺整備については、これまでの議会質問でも取り上げられ、経過等もある程度承知しているが、昨年の一二月議会での市長答弁を踏まえると、まずは整備方針の決定を要するなど、今後の見通しについては相当な時間を要するのではないかと危惧する。

例えば、現状の駅前広場のバス・タクシー・旅館ホテルのマイクロ・自家用車等の利用エリアについて、伊東駅のシンボル的な「めおとヤシ」のエリアと市営駐車場を活用して車両の煩雑さを解消するような整備方針が考えられないか。

また、現在の東海バスの待合所を少しリニューアルすれば観光客の皆様にも利用していただけるスペースとしての活用が可能であると考えるが、観光地伊東の顔である伊東駅周辺の整備についての進展を期待して、現状の課題と今後の見通しについて伺う。

安全に利用しやすくするため、関係者間の意見の集約を図り事業化を目指したい

市長

これまで市街地再開発事業による駅前広場と再開発ビルの一括整備を目指してきたが、近年の経済状況により開発業者などの事業協力者の参画を得ることは難しい状況であり、また、駅前広場の整備方針についても、駅前広場を利用する関係者間での意見集約に時間を要している。

今後は駅前広場と建物部分を分離して進めることも視野に入れ、事業協力者も参加しやすい環境を整えるとともに、駅前広場については、市民や観光客が快適に利用でき、バスやタクシー等も安全に利用しやすくするため、関係者間の意見の集約を図り、事業化を目指したい。

『その他の質問』　三項目

伊東駅前（めおとヤシのエリア）

老朽化した伊東魚市場の改修計画について伺う

日本共産党
佐藤龍彦議員

本市における観光客の誘致や地域産業発展のために水産業の振興は重要である。

特に「サバ男くん」に代表される「伊東ブランド」になり得るB級グルメの開発等、いとう漁協の取り組みは、今や県内外でも広く評価されており、新鮮な魚介類に魅力を感じ、全国から観光客が来遊することで、ひいては雇用の創出にもつながると考えられる。本市の水産物は重要な資源であり、その鮮度を保ち、販売機会をふやしていく上で、老朽化した伊東魚市場の改修は重要であると考え、改修計画の策定と決定方法及び今後の方向性を伺う。

また、「伊東ブランド」を確立していく上で、市場と連携したにぎわい創出を図るべきと考えるが、いかがか。

観光と防災機能を兼ね備えた複合型水産物供給施設として整備予定である

市長

伊東魚市場の改修は、いとう漁業協同組合が伊東魚市場改修基本計画の策定及び国の補助事業採択に向け準備を進めている。

今後、国・県の補助金を活用しながら事業を進め、実施計画策定を経て、平成二八年度に第一期工事、平成二九年度に第二期工事を行い、観光と防災機能を兼ね備えた、複合型水産物供給施設として整備する予定である。

伊東魚市場を含む内陸フロンティア推進区域は、国道沿いに位置するとともに、伊東駅からも市内を散策しながら訪れることができる場所にあり、本市の水産物を「伊東ブランド」として発信することが期待されていることから、改修にあわせ、波魚波食堂を「食の体験ゾーン」にふさわしい、にぎわい創出の拠点として周辺も含めて整備していく予定である。

『その他の質問』　四項目

伊豆さざえちゃうだー
（いとう漁協・伊豆漁協が連携開発）

地方公共事業の入札について本市が原則事前公表により実施している理由及び分離発注方式についての考え方を伺う

杉本一彦議員
（会派に所属していない）

本市の市施設については老朽化が進んでいるものも多くあり、今後は新設、修繕などの公共工事がふえてくることが想定される。そのため財政状況が厳しくなってくることが予想され、入札競争が激化することも考えられる。

本市の公共工事に係る入札制度については、各建設業者の真の技術力や経営力による競争が反映される仕組みとなっていないように感じており、それは公共工事の品質確保にも支障が生じることが懸念される。

そこで、地方公共事業の入札について、全国的に予定価格の事後公表を採用する流れのある中で、本市が原則事前公表により実施している理由について伺う。

また、市内の各種工事組合等から、分離発注方式の要望等があると思われるが、分離発注についてどのように考えているか伺う。

今後は事後公表への移行も検討している。また、分離発注については可能な限り努めている

市長

入札予定価格の公表は、事前漏えいの不正回避などの観点から平成一五年より実施してきた。

しかしながら、事前公表することにより、低入札調査基準価格を類推させ、適正な競争が行われにくくなることや、建設業者の見積努力を損なわせることなどの問題点もあるため、事後公表への移行も検討していきたいと考えている。

また、各種工事組合からの要望を受け、工事担当課において、分離して発注できる工事については、可能な限り分離発注に努めている。

『その他の質問』　九項目

電子入札の様子

閉会中の議会活動

平成27年

※平成27年10月臨時会閉会後
平成27年12月定例会開会まで

10月22日	常任福祉文教委員会協議会
11月 2日	議会報編集委員会
11月10日～12日	常任総務委員会行政視察
11月17日～19日	常任福祉文教委員会行政視察
11月18日～20日	常任観光建設委員会行政視察
11月26日	議会運営委員会

行政視察概要

常任委員会で先進事例などの調査・研修のため、
２泊３日の行政視察を実施しました。
詳細はホームページをご覧ください。

常任総務委員会

■一一月一〇日
徳島県鳴門市
・「市民協働のまちづくりに係る取り組み」について

■一一月一一日
徳島県三好市
・「ＩＣＴによる地方創生の取り組み」について

■一一月一二日
徳島県徳島市
・「徳島市シティプロモーションの取り組み」について

元旅館を活用したサテライトオフィス（徳島県三好市）

常任観光建設委員会

■一一月一八日
富山県富山市
・「競輪事業」について

■一一月一九日
石川県金沢市
・「観光タクシー及び観光スポットの誘客の取り組み」について
・「外国人誘客推進事業」について

■一一月二〇日
富山県高岡市
・「新産業創造プラットフォーム」について

ひがし茶屋街（金沢市）

常任福祉文教委員会

■一一月一七日
香川県坂出市
・「市民後見推進事業」について

■一一月一八日
愛媛県四国中央市
・「四国中央市ユビキタススクール推進事業概要」について

■一一月一九日
香川県高松市
・「高齢者居場所づくり事業」について

香川県坂出市

常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

◆詳細は、2月中旬発行予定の12月定例会会議録の委員会審査報告をごらんください。

総務委員会

問

消防広域化後の消防業務に係る手数料について伺う。

答

手数料は、危険物に関するものが主なものであり、政令において全国一律の金額となっていることから、変更を生じない。

消防庁舎

問

コンビニ収納に係る手数料が相当額に上ることを踏まえ、市税の収納方法について、考えを伺う。

答

固定資産税の納税者が多い首都圏には、本市との取引銀行が少なく、コンビニ収納に頼る部分もあり、また、早朝、夜間などにも納付できる利便性や、現在、市で行っている夜間、休日の納税相談を兼ねた納付窓口の利用状況なども勘案すると、納付窓口の時間を延長するよりもコンビニ収納による利点の方が高いと考えている。

観光建設委員会

問

伊東魚市場改修後の防災機能について伺う。

答

津波レベル２に対応する４階建て備蓄津波避難タワーを併設する。また、避難通路を設置して、製氷施設の建物にも避難できるようにする。

伊豆・いとう地魚王国推進区域内ゾーンニング

問

補正予算で計上した特別誘客宣伝事業の内容について伺う。

答

伊東マリンタウンの独自調査の結果、八王子ナンバーの車の動向が減少傾向にあるため、圏央道桶川北本ＩＣ～白岡菖蒲ＩＣ間の開通を受けた北関東地区での誘客キャンペーンを行う。

内容は、大型ショッピングモールでのキャンペーン、地元テレビや映画館での上映前のコマーシャル放映を行う。伊豆伊東温泉を大々的に宣伝して、春の誘客に力を入れていきたい。

福祉文教委員会

問

さくら保育園の名称変更に関し、ノーマライゼーションの観点から見解を伺う。

答

保護者の方の意識の変革に伴い、専門的な支援を必要とする声が高まっていることに鑑み、指定児童発達支援事業所としての位置づけを明確にし、支援を充実させていくことが重要である。

問

がん検診等推進事業に係る増額補正の計上に関し、検診状況の推移をどのように分析しているか伺う。

答

テレビなどのメディアを通じて著名人のがん報道が相次いだことから、がんに対する関心の高まりが社会的風潮として現れており、その結果、検診を受ける方が増加傾向にあると分析している。

検診を受けましょう

議場見学

10月30日

大池小3年1組

大池小3年2組

伊東市議会ホームページのご案内

市議会では、市民の皆様に市議会の情報をお届けするため、ホームページを開設しています。
主な内容は次のとおりとなっていますので、ぜひごらんください。

◎市議会の仕組み
◎市議会の構成
◎市政の概要（全編版・抜粋版）
◎議会閉会中の活動状況
◎議長・副議長日程表
◎行政視察
◎いとう市議会だより
◎請願・陳情、決議・意見書とは？
◎市議会の傍聴を！
◎市議会図書室のご利用案内
◎市議会の情報公開請求
◎伊東市議会会議録検索システム
◎市議会インターネット中継放送
◎正副議長のごあいさつ
◎第18期伊東市議会議員名簿
◎歴代議長・副議長一覧
◎定例会・臨時会

伊東市議会　検索

本会議録画映像をインターネットで視聴できます！

本市議会では、開かれた議会を目指し、平成二七年一二月定例会から、本会議の様子をごらんいただける取り組みを始めました。

会議の翌日から起算して、おおむね三開庁日後から視聴できます。

アクセスは、伊東市ホームページ→市議会→市議会インターネット中継放送

※録画映像は公式記録ではありません。後日調製される会議録が公式記録です。

3月定例会の予定

2月22日(月)開会

※日程等は、２月中旬の議会運営委員会において正式に決定します。

編集後記

寒さが厳しい季節になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今号では常任委員会の行政視察及び新しい取り組みとしてのインターネットでの本会議映像配信について掲載しました。まだまだ課題はありますが、開かれた議会を目指し、本紙だけでなく、さまざまな方法で情報発信をしていきたいと思っていますので、ぜひ、ごらんいただければと思います。

（委員長）

議会報編集委員会

委員長　四宮和彦
副委員長　中島弘道
委員　青木敬博
〃　篠原峰子
〃　佐藤龍彦

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ

伊東市大原二丁目一番一号
ＴＥＬ（三二）一九八一
ＦＡＸ（三八）六九一六
E-mail：gikai@city.ito.shizuoka.jp

「いとう市議会だより」は再生紙を使用しています